

# 経済・経営・情報/専門科目

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
情報システム論	情報活用入門	植村 明生	1 年次前期
講義の目的	「情報通信技術」(ICT) は日々進歩し、パーソナルコンピュータ (パソコン) が家庭や一般社会に広く普及しただけでなく、情報処理を専門とせずとも、パソコンやスマートフォン、インターネットを使いこなすことが現代人の知識や活用能力 (リテラシー) として重要な位置を占めている。この講義では、日常生活や一般社会において、パソコンやインターネットを安全に、かつ有益に活用するための基本的な知識の習得を目的とする。		
到達目標	「情報検定 (J 検)」3 級 CBT 方式の取得		
講義の内容	パソコンやインターネットの基礎、アプリケーションソフトの概要、ICT の進歩、情報社会とコンピュータ、情報モラルなど、情報活用の基礎知識を座学中心で修得する。最終的な成果として、(一財) 職業教育・キャリア教育財団 検定試験センター (旧専修学校教育振興会) 主催の「情報検定 (J 検)」3 級 CBT 方式 (本学のコンピュータールームを使用したパソコン上での検定試験) の取得を目指す。		
講義スケジュール	第 1 講	オリエンテーション (授業概要や運営方法、情報検定の概要説明)	
	第 2 講	情報の理解、情報や手段の適切な選択	
	第 3 講	情報の収集・伝達のあり方とパソコンの利用、問題解決の方法	
	第 4 講	パソコンの代表的な装置と媒体、および OS の主な役割	
	第 5 講	データ保存とファイル管理の仕組み	
	第 6 講	復習と小テスト	
	第 7 講	インターネットの特徴とプロバイダーの役割	
	第 8 講	インターネットを利用するための環境	
	第 9 講	Web ブラウザ、電子メールの主な機能	
	第 10 講	復習と小テスト	
	第 11 講	パソコンや情報機器の取扱い、基本操作	
	第 12 講	アプリケーションソフトの基本的な利用方法	
	第 13 講	情報社会と私たちの生活	
	第 14 講	情報モラル	
	第 15 講	総括と模擬テスト	
方法指導	基本的に講義計画に沿ったテーマで講義を行う。適宜、講義内容に関する小テストを実施する。		
授業外学習	資格取得に向けて、講義で学んだ内容はテキスト等で復習し、過去問題を解くことで授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。		
成績評価の方法	「本試験」(J 検 3 級の受験結果あるいは筆記試験結果): 60%、平常点 [授業内テスト、レポート (授業外で作成した提出物)]: 30%、「平常点」(小テスト): 10% を総合的に判断して評価する。		
ステキ	必要に応じて資料・レジュメを配布するとインターネット上のホームページを紹介		
書籍参考	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 監修 『情報活用試験 3 級 公式テキスト・問題集 2017 年度版』 実教出版 ISBN: 978-4-407-34156-0		
事項記			